

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【城北小】

①		今年度の目標と学力向上策	
重点的に育成する 資質・能力		基礎学力の定着及び向上を目指し、以下の2点を重視する。 (1)意欲を高め、学習に取り組む力 (2)自分なりに考えながら、粘り強く学習に取り組む力	
		↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】		(1)単元や各授業時間の導入において、生活場面や既習事項に関連した内容を取り上げ、問題に対する児童の関心を高め授業を行う。【通年・毎単元、実施した各時間】 (2)授業の学習過程の中に児童が学習の取り組み方を選択して決める場面を取り入れたり、課題を解決するまでの計画を自ら立てたり見直したりする学習を増やす。また、学習の取り組み方も振り返らせることで教師からの支援を適切に行えるようにする。【通年・毎単元、実施した各時間】	

⑤			年度末評価		
学力向上策の 実施状況	評価(※)		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 結果提供(2月)		
			↓		
今年度の成果と 次年度の課題			結果から考えられる 児童生徒の実態		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④			さいたま市学習状況調査結果の分析		
特徴的な結果					
			↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態			①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業		

③			中間評価		
学力向上策の 実施状況	評価(※)		(1)中学校との合同研修会から既習事項を積み重ねて、学習内容の定着を図ることの大切さを改めて教員間で確認した。それぞれの授業実践の中で意図的に既習事項を取り扱い、学習を進めるようにする。 (2)個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に向けて、学びのポイント「し・しゃ・く」を取り入れ、児童が学習活動において学習方法を選択できる場面を増やしている。また、学習内容や学習方法の振り返りについては、単元内で振り返る機会を増やしていくことで、教員の指導改善につなげている。		
	B				
			↓		
学力向上策の 見直し			継続中のため、変更なし		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)